

## (専門分野 I)

授業科目	日常生活の援助技術Ⅲ	講師	教員	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.栄養・食生活の意義を理解し、安全・安楽に援助する技術を習得する。 2.排泄の意義を理解し、安全・安楽に援助する技術を習得する。				時間数
					30
					学年
					1
					時期
回数	主 題	学 習 内 容	授業方法	講師	
1	健康な生活のための食事の意義	1. 食事とは 2. 生理的・心理的・社会的意義	講義	教員	
2	食事援助における看護師の役割	1. 食べるための機能とは 2. 誤嚥とは 3. 栄養状態の観察とアセスメント	講義	教員	
3	食事援助の基本	1. 食事援助とは 1) 環境調整 2) 食後の観察とアセスメント 3) 食事困難時の援助技術	講義	教員	
4	食生活を整える技術	1. 咀嚼・嚥下機能に障害のない患者の援助 2. 姿勢・体位に制限のある患者の援助（仰臥位） 3. 上肢に運動障害のある患者の援助 4. 咀嚼・嚥下機能に障害のある患者の援助	演習	教員	
5	健康障害時における栄養管理方法	1. 経口・非経口栄養摂取方法	講義	教員	
6	排泄の基本的知識	1. 排泄とは 2. 生理的・心理的・社会的意義 3. 排泄のメカニズム	講義	教員	
7		1. 排尿・排泄の機能のアセスメント 2. 排泄行動のアセスメント	講義	教員	
8	排泄の基本	1. 排泄の援助の基本 2. 自然排便を促す排泄援助 1) 尿器・便器 2) ポータブルトイレ 3) オムツ	講義 デモン スト レーシ ョン	教員	
9	排泄における基本的技術	1. 差し込み便器を用いた排泄技術	演習	教員	
10		1. オムツを用いた排泄技術	演習	教員	
11	排泄困難時の基本的援助技術	1. 導尿とは 2. 浣腸とは	講義 デモン ス	教員	

		3. 摘便とは	トレーシ ョン	
12・13		1. 尿道留置カテーテルを用いた排泄 援助	演習	教員
14		1. グリセリン浣腸液を用いた排泄援 助	演習	教員
15	評価	筆記試験 まとめ		
評価 方法	筆記試験 100点	テキ スト	系統看護学講座 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 看護技術がみえる vol. ①基礎看護技術 看護技術がみえる vol. ②臨床看護技術	